

平成28年度山形県生活習慣病検診等管理指導協議会  
循環器部会 議事録

日時：平成29年3月8日  
午後4時～午後5時  
場所：県庁10階1001会議室

《 次 第 》

- 1 開会（伊藤 県健康長寿推進課健康づくりプロジェクト推進室健康づくり推進専門員）
- 2 あいさつ（阿彦 県健康福祉部医療統括監）

<委員・出席者紹介>

<部会長・副部会長選出>

部会長に、大道寺内科医院理事長・大道寺七兵衛 委員、副部会長に、山形大学医学 第一内科講師 渡邊哲 委員を選出した。

3 協議

- (1) 平成27年度特定健診・特定保健指導の実施状況について
- (2) 脳卒中・心筋梗塞発症登録評価研究事業について
- (3) その他

事務局

- (1) 平成27年度特定健診・特定保健指導の実施状況について説明。

大道寺議長

- (1) 平成27年度特定健診・特定保健指導の実施状況について何かご質問等ありますか。

渡邊委員

内臓脂肪・予備軍の値について、年齢と共に低下している。一般的には逆の推移になると思うのだが、どう解釈すればよいのか。予備軍がメタボになっていると解釈するべきなのか、保健指導によってメタボの抑制に繋がっているかが重要だと思うのだが。保健指導の有無を経年的にみていき、予備軍からメタボに進行したか否かのデータ解析が必要だと思うのだが、可能なのか。

大道寺議長

厚労省では、平成25年度3月から毎年、特定健診受診者約2,500万人分のデータを蓄積しているそうです。そのデータとレセプトを突合し、保健指導の有無で変化があるのか解析中だとうかがっていました。

事務局

大道寺議長のお話の通り、ビッグデータの活用ということで現在検討中とうかがっております。しかしながら、国保連に伺いますと検査データを基に、個人のレセプトに立ち返ることは可能だが、現段階でレセプトとの紐付けは、システム問題などがあり理論的に困難ということでした。システムの改築も検討しているということでしたので、その整備が整えば、順次解析可能になるかと思われま

大道寺議長

特定健診の場合、がん検診とは違い具体的な結果が分かりにくく、データ解析は最重要になるかと思

山形市医師会健診センター

平成27年度の結果を踏まえ、山形市では電話による受診勧奨を実施したとうかがっております。これにより、平成28年度はもう少し高い割合が出るのではないかと思います。

やまがた健康推進機構

山形市同様、今年度より電話での受診勧奨を実施しています。更に、本人あてに判定結果を郵送するなど実施しましたので、増加が見込まれると思います。また、健診当日の支援を増やしている

大道寺議長

保健指導に該当するが、過去に実施している等の理由で、該当者がキャンセルする場合など

山形市医師会健診センター

実際そのようなケースもありますが、推進機構同様、電話勧奨・本人宛の郵送物等による新規受診者の勧奨にも力を入れています。

事務局

(2) 脳卒中・心筋梗塞発症登録評価研究事業について説明。

大道寺議長

(2) 脳卒中・心筋梗塞発症登録評価研究事業について、渡邊先生、補足等ございませんか。

渡邊委員

心筋梗塞発症登録の解析について、論文を発表しております。近年発表した論文ですと、庄内・置賜・村山、3地域に分け心筋梗塞の発症状況をみました。その結果、庄内地域が最も少ない数字となりました。しかし、過去から近年の経過を辿った場合、庄内地域の数字は増加傾向にあります。原因として考えられるのが、類推になってしまいますが、コレステロールを含めた中性脂肪が他地域より少ない傾向にあったものが、近年高い数字になってきており、内陸と庄内で食生活の違いが無くなってきたのではないかという事が推測されました。これを心臓病学会・学会誌に報告したところです。又、論文発表はしておりませんが、夏場における心筋梗塞の解析として学会等で発表しております。

大道寺議長

山形県の、脳卒中・心筋梗塞の実態を研究し、特定健診・保健指導にどう役立てていくかは非常に重要になるかと思えます。

(3) その他 何かご意見はございますか。

無いようですので、協議を終了いたします。

事務局

委員の皆様、熱心な御協議ありがとうございました。以上で山形県生活習慣病検診等管理指導協議会循環器部会を終了いたします。